

日時：2024年11月26日(火) 17:30-18:00

場所：Zoom開催

進行：ストーマ用品セーフティーネット連絡会 当番幹事 (株)ホリスター

議事：ストーマ用品セーフティーネット連絡会 副当番幹事 コロプラス(株)

参加者：JSSCR-幸田圭史、板橋道朗、靱山こずえ、山本由利子

JWOCM-紺家千津子、松原康美

JOA-木下静男

OAS-諏訪昌宏(進行)、秋葉晃子、Vivian Fei、内藤寿真子(議事) 合計 11名

1. 活動報告

1) JSSCRより

板橋：

- JSSCR理事会でJOAの会員減少状況を共有。患者の声を聴き反映していただくことは重要課題、会としてどのように協力できるか話し合った。今回は共有に留まったが、今後の検討の素地はできた。
- 9月17日、各ストーマメーカーの社長参加による意見交換の機会を得た。患者および医療従事者側の声が届き、近距離で協力し合えるよう山本副理事とともに話をした。次回12月中旬に再度話す予定、具体的なアクションを討議し進めていく。
- 第42回学術総会が2月7日(金)8日(土)に福島県郡山市のビッグパレットふくしまで開催予定。福島県立医科大学の遠藤先生ご担当にて準備すすめていただいております、協力をお願いします。

靱山：

- JSSCR学術総会 1日目、2月7日午後に例年通り災害対策委員会企画を開催予定。今回は委員会メンバーから講師を選出して実施。以下三名に発表いただく企画で準備中。
 - ✓ 九州の福永先生、ネットワークづくりと、販売店等で使用するストーマ保有者の安否確認アプリ作成について。
 - ✓ 静岡の中村先生、行政と話し合いし備蓄を進めている事例について
 - ✓ 藤田先生より能登半島地震の時の状況について。
- JSSCR総会において、災害対策代表者会議も例年通り開催予定。日時は決定次第連絡、各メーカーの代表にも参加していただきたい。
- 9月の災害対策委員会開催時に、JOAとの連携について相談した。各都道府県にいるJOAの顧問医が、研究会の代表の先生であることも多いので、顧問医を通じてJOAと連携を取り、会員を増やす働きかけや地域会との連携の話も出た。その方向も進めていけるのではと思っている。
- 用語集を5年に1回改定、今回の改訂版を、来年1月末から2月頭頃に届くように準備を進めている。作成にあたり皮膚保護剤成分分類表の情報収集や内容確認を各メーカーに協力をいただきお礼申し上げます。皮膚保護剤名入りの成分分類表は、学会誌が発刊されると同時期に、ホームページへアップする予定、アップ後また報告する。

2) JWOCMより

紺家：

- 学会としてではないが、9月21日、22日に能登半島豪雨災害が起こり、地震の際に日本医師会の災害医療チームの統括と繋がったことから、今回も支援可能の旨お声をかけした。ストーマ保有者を含め特に支援の依頼はなかったことを、現状として報告する。

3) JOAより

木下：

- 日身連で取り纏めて令和七年度日身連要望事項として、厚労省や内閣府などの関係省庁へ提出していますが、11月15日にオストミー協会の要望事項を提出しました。私が日身連の理事で要望事項決定の政策検討委員でもあるので、全体の要望事項を見極めながら対応したい。

オストミー協会としての要望事項

- ✓ ストーマ装具関連製品に関する改善：給付基準額の増額要望を市区町村にも提出、消化器系と尿路系のストーマ装具の代金を1万3千円へ引き上げるよう要望。
- ✓ 地域間格差の是正：給付対象者について、「在宅に限る」の解釈として、老人ホームが在宅にあらずという理由で給付打切りの市町村があること、また給付対象品目にも差があり、隣の市へ移ったら今までもらえていた品目が対象外という事例を具体的に説明。
- ✓ 給付関連予算：市町村への要望において、給付金は国が50%以内、県が25%以内、残りを市区町村が負担するというルールの中、国、都道府県について上限までの負担がなく、市区町村の負担は25%を超えて大きく、増額ができない理由の一つとなっている。その点、検討をいただき是正をお願いする。
- ✓ 災害時の対策：市区町村における装具やオストメイトトイレの備蓄は進んできているが、避難所における装具交換のスペースの確保を含め、まだ市町村間の地域格差があるため、指導をお願いする。
- 全国9ブロックでブロック会議開催（10/6-11/20）今年度の全国大会で試みた新しい支部長会議のやり方への意見収集と、新しく掲げた2つの大会スローガン「新規会員10パーセント増を目指す」と「全自治体に対して給付増額要望書を提出しよう」について対応状況を議論。企画部会で取りまとめ、今後の活動に活かして行く。
- JOAの会員減少の現状と財源問題の対応の必要性についての説明。対策を検討していく予定。
- 能登半島豪雨災害は、石川県支部長と連絡、該当地区のJOA会員は3名、特に問題はなかった。

4) OASより

諏訪：

- 災害救助法適用報告
 - ✓ 令和6年7月25日の適用地区：遊佐町1名無償提供
 - ✓ 令和6年9月21日の適用地区：輪島市1名無償提供
- 活動
 - ✓ 8月22日京都橘看護教育研修センターで災害対策について講義実施
 - ✓ 9月11日石川県立看護大学で災害対策について講義実施
- 『災害時対応の手引き』改訂版について
 - ✓ 変更点を最終確認し、最終版として合意。
 - ✓ 印刷物の配布予定数の確認（印刷予定部数 3000部）
JOA 130部、JSSCR 100部、JWOCM 0部（PDFデータをHP掲載）
OAS 販売店配布2,410部（保管用360部）
- 厚生労働省訪問
 - ✓ 日時：12月20日（金）14:00～15:00 共用第4会議室
 - ✓ 訪問前の事前打合せ：日程調整は諏訪氏より連絡、協議会内で申し入れ事項を相談

次回開催：第59回日本ストーマ連絡協議会

2025年3月25日（火）17時30分～18時30分予定

以上